



2022年7月20日

各位

会社名 株式会社スポーツフィールド
代表者名 代表取締役 篠崎 克志
(コード:7080 東証グロース市場)
問合せ先 執行役員 亀田 高一郎
(TEL. 03-5225-1481)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年2月14日に公表いたしました2022年12月期通期連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 2022年12月期通期連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------|--------------|------------|------------|---------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 2,398 | 百万円 61 | 百万円 56 | 百万円 49 | 円・銭 27.64 |
| 今回修正予想(B) | 2,650 | 400 | 395 | 254 | 141.23 |
| 増減額(B-A) | 251 | 338 | 338 | 204 | — |
| 増減率(%) | 10.5 | 555.3 | 599.4 | 412.1 | — |
| (ご参考)前年実績 2021年12月期 | 百万円 2,130 | 百万円 △32 | 百万円 △35 | 百万円 △79 | 円・銭 △44.42 |

(注)当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前回発表予想及び前年実績の1株あたり当期純利益につきましては、2021年12月期の期首に分割が行われたと仮定して算出しております。

(2) 修正の理由

2022年12月期通期連結業績予想については、先行き不透明な社会情勢や就職活動の早期化の影響など、事業上のリスクを慎重に見込んでいましたが、過去最高業績であった第1四半期に続き、第2四半期についても想定を大きく上回る見込みであることから、前回発表予想を前述のとおり上方修正いたしました。以下、主要3事業の売上高と費用見通しについて詳細を説明いたします。

新卒者向けイベント売上高については、1,041百万円(前回発表予想972百万円)へ上方修正いたしました。第1四半期以降に開催したイベントへの参加学生数減少が第2四半期以降のイベント販売に与える影響を注視しておりましたが、第2四半期末時点におけるイベント販売の受注進捗が前年同期比で堅調に推移していることから、上方修正をいたしました。

新卒者向け人財紹介売上高については、784百万円(前回発表予想728百万円)へ上方修正いたしました。就職活動の早期化の影響により早期に内定を獲得する学生数が増加、就職活動中の学生数が前年同期比減少傾向にあることから、企業への紹介に至るユニーク紹介学生数は前年同期を下回る見込みです。一方で企業の採用ニーズ回復を背景に、営業体制の見直しが奏功し、ユニーク紹介企業数は前年同期比で大きく増加する見込み

です。結果的に成約率が向上し、成約人数が想定より増加する見込みであることから、上方修正をいたしました。

既卒者向け人財紹介売上高については、712 百万円(前回発表予想 600 百万円)へ上方修正いたしました。各指標は、量(ユニーク紹介人財数)、質(ユニーク紹介企業数、成約率)ともに当初想定を上回る進捗となっております。下半期については、ウクライナ情勢、インフレの進行、新型コロナウイルス感染症の再拡大等による内外経済の先行き不透明な状況が続くと思われませんが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた直近2年間と比べると、当該事業は回復基調にあるものとして上方修正をいたしました。

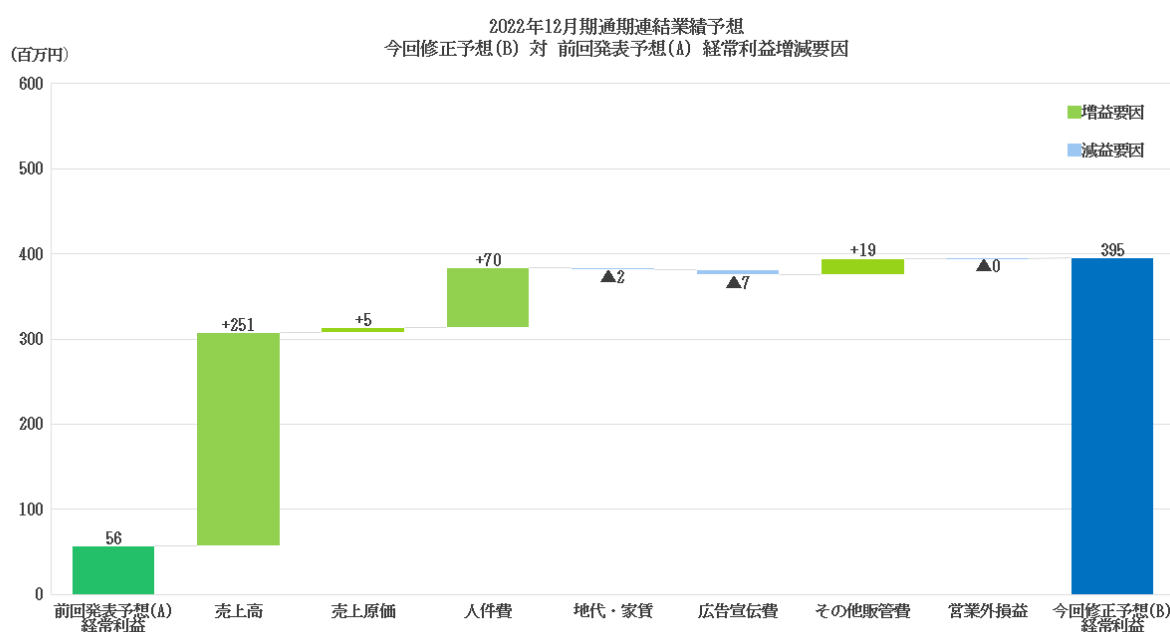
販売費及び一般管理費については、利益体質への改善にむけた一環で、中途採用ペースを抑制したことにより人件費中心に当初想定を下回る見込みですが、第3四半期以降、役職手当改定増額、従業員サーベイ導入や教育研修、福利厚生費など、人的資本への投資を積極的に行う予定です。営業外費用については、今後の機動的な投資判断のため、借入金の調達を検討しておりますが、複数の金融機関と交渉を行うことで借入利率が改善する見込みであることから、業績への影響額は軽微となる見込みです。

以上の理由から、2022年12月期通期連結業績予想について、売上高は2,650百万円、営業利益は400百万円、経常利益は395百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は254百万円に上方修正いたしました。

※2022年12月期第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しております。前年実績は、当該会計基準等の適用前の数値を用いております。※上記予想は、本資料公表日現在において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上

(ご参考)



2022年12月期通期連結業績予想
 今回修正予想(B) 対 前年実績 経常利益増減要因

